



明石市立江井島中学校通信

しまっかが宝

令和2年
(2020年)
7月10日
第7号

学校長 植垣 文夫

『アカテガニの神様』作者からのメッセージ集をいただきました(令和2年6月24日)

まちづくり協議会の二星さんと「江井島・地域ヒストリー アカテガニの神様」作者の南さんが校長室を訪ねてくださいました。「自分たちが生まれ育った郷土の歴史や文化を江井島中学校の生徒の皆さんに知ってもらいたい。」と、「江井島・地域ヒストリー アカテガニの神様」を1人1冊、まちづくり協議会様より寄贈していただきました。その作品をみなさんは読書タイム等を活用して各クラスで読み、読後の感想を所定の用紙に書いてくれました。その感想文を作者の南さんにお渡ししましたところ、南さんはお渡しした感想文に時間をかけて全員分じっくりと読んでくださいました。「生徒さん、一人一人がこの作品をしっかりと読み込んでくれたことにたいへん驚きました。中学生には多少難しい内容であったかもしれないのにです。」「現時点での歴史の正史と思われるものを使用してストーリーをすすめました、生徒さんからは、「作者の南さん、この史実は本当なのですか。」と尋ねられる内容もあり、自分自身、ドキッとしました。」などと、感想をおっしゃいました。そのうえで、生徒1人1人に1行メッセージを書かれ、クラスごとに印刷したメッセージ集をクラスごとにいただきました。地域の方(作者)が地域の歴史や風土を



学習して記録する。その作品を地域で生まれ育った子どもたちが読んで、思ったことを感想文にする。その感想文を作者が読んで、感想を子どもたちに返す。なんともすごい言葉の循環ではないでしょうか。作品をめぐる作者と読者の関係は、多くの場合に双方向性は取りにくいものです。今回のこの素晴らしい循環を契機として、江井島の子どもたちが自分の生まれ育った地域に、この風光明媚な江井島の地に、誇りと愛情をさらに重ねてくれたとしたら、こんなにうれしいことはないと思います。

お手製布マスクのプレゼント(令和2年6月29日)

まちづくり協議会の会長様が来校くださいました。「先生方、がんばってくれているね。ぜひ、使ってくださいね。」と、会長様の奥様が丁寧に縫われたマスクを届けてくださいました。まちづくり協議会様からは、すでに「先生方、コロナに負けずにがんばってよ。」と臨時休校中の早い時期にマスクをいただいていたのですが、今回は追加でいただきました。2種類のすてきなマスクがありました。ひとつはホワイトの格子柄です。角度によって反射する光沢のある素材でダンディーな感じがしました。もうひとつはレース柄があしらわれたエレガントで気品の漂うマスクでした。いつも元気づけていただいています。こんなときに、学校は地域の皆様より支えていただいているのだなあ実感します。

蓮根池の蓮の花のつぼみ(令和2年7月1日)

これらの写真は過日、給食配膳室から撮影した写真です。給食のお当番さんに声をかけていましたら、ふと、視界に白い玉のようなものが目に入りました。池の方に近づいてみ



るときれいなきれいな真っ白な蓮の花のつぼみでした。蓮の美しさを皆様と共有できたらと思い掲載いたします。(写真掲載については、明石市農水産課に連絡し、池の管理者等関係各所と確認をしております。)

ネットの見守り活動について(令和2年7月9日:市教委からのお知らせです)

近年、パソコンや携帯電話・スマートフォンの急速な普及に伴い、情報通信技術の発展も目覚ましく、インターネットを使用することは大変身近なものとなっており、インターネットの負の問題が見られるようになってきました。子どもたちの中には、インターネット上で他人を誹謗中傷する、いわゆる「ネットいじめ」や様々なトラブルに巻き込まれ、加害者や被害者となってしまいうケースも心配されます。このような状況から、現在、明石市教育委員会が専門の監視員(コンサルタント)とアドバイザー契約を行い、インターネットを利用する上でのマナーやモラル、トラブル防止などについて、学校へのフォロー指導を行っています。各ご家庭におきましても、ご指導声かけなどをお願いします。